

# 令和4年度 名古屋市立平田中学校 グランドデザイン

【国の教育の方向】  
生きる力の育成  
資質・能力

建学の精神  
自ら 考え 鍛え ともに高まる

【名古屋市の教育の方向】  
なかまと学び 夢を創る  
なかまなビジョン

## 教育目標（育てたい生徒の姿）

- 自己のよさを生かし、自ら考え、判断し、行動できる生徒
- 人を思いやり、共に学び高め合うことのできる生徒
- 自己の健康を管理し、進んで運動に取り組むことのできる生徒

令和4年度 学校教育の努力点  
主題「自己肯定感の醸成」

学校経営方針： **自律と共生を促す**  
～「自ら判断し」「関わり合う」ことを通して育つ子どもを支える～

### 自分づくり

- 判断力と行動力の育成
- 自己肯定感・自己有用感の醸成

☆ポートフォリオを基にした振り返りの充実  
☆キャリア教育の充実

#### 【指標】

自ら考えて適切に行動している 80%  
自分にはよさがある 80%  
将来達成したい夢や目標がある 80%

### 集団づくり

- 社会性・協働性の醸成

☆自治活動の推進  
☆縦割り活動（異学年交流）の推進  
☆体験活動の充実

#### 【指標】

人と関わることで成長している 80%  
他者と関わっている 80%

### 授業・行事づくり

- 思考力・判断力・表現力及び探究心の育成
- 運動・芸術を愛好する気持ちの醸成

☆魅力的な授業・行事づくり、ICTの利活用  
☆SDGsを基にした探究学習の推進  
☆NIEを基にした読解力の育成

#### 【指標】

授業で分かる・できるを  
実感する 80%  
探究することが楽しい 80%  
将来運動や芸術に  
関わっていききたい 80%

### 居場所づくり

- 思いやりの醸成
- 教員との信頼関係の構築

☆人権教育・道徳教育の推進  
☆生徒指導・教育相談の充実  
☆ピア・サポートの充実

#### 【指標】

思いやりをもって  
接している 80%  
思いやりをもって  
接してもらっている 80%  
先生方は頼りになる 80%

## 学校の基盤づくり

安心・安全の学校づくり  
防災・減災教育

開かれた学校  
PTA・地域との関わり  
小学校との連携

働きやすい職場環境  
学び続け支え合う教職員

### 自分づくり

- 判断力と行動力の育成
- 自己肯定感・自己有用感の醸成

ポートフォリオを基にした振り返りの充実  
キャリア教育の充実

【指標】  
自ら考えて適切に行動している 80%  
自分にはよさがある 80%  
将来達成したい夢や目標がある 80%

#### 【生徒用アンケート (例)】

- ①自ら考えて適切に行動している 4…3…2…1
- ②自分にはよさがある 4…3…2…1
- ③将来達成したい夢や目標がある 4…3…2…1

※4：とても思う、3：思う  
2：思わない、1：全く思わない

### 授業・行事づくり

思考力・判断力・表現力及び探究心の育成  
運動・芸術を愛好する気持ちの醸成  
魅力的な授業・行事づくり、ICTの利活用  
SDGsを基にした探究学習の推進  
NIEを基にした読解力の育成

【指標】  
授業で分かる・できるを  
実感する 80%  
探究することが楽しい 80%  
将来運動や芸術に  
関わっていききたい 80%

#### 【保護者用アンケート (例)】

- ①お子様は自ら考えて適切に行動している 4…3…2…1
- ②お子様自身は自分にはよさがあると思っている 4…3…2…1
- ③お子様自身に将来達成したい夢や目標がある 4…3…2…1

※4：とても思う、3：思う  
2：思わない、1：全く思わない

# 参考資料

令和3年度 名古屋市立平田中学校 グランドデザインについて（案）

令和3年1月21日（木）主任会

令和3年1月21日（木）運営委員会

令和3年2月 8日（月）職員会議

## 0. 前提

本年度創立40周年を迎え、50周年の節目を迎えるに当たり、この後の10年を見据えた学校づくりを進めていく時期に来ている。

来年度は、新学習指導要領の全面実施に加え、GIGAスクールへの対応も必要となってくる。一方で働き方改革の取組も推し進めなければならない。

## 1. 経緯

働き方改革の根幹は、私たち教職員が子どもたちにとって「生き生きと働く大人」のロールモデルとなり、魅力ある授業を通して子どもたちを育てていくことである。

一方で、これまでは問題に対する対処に追われたり、それぞれの活動が首尾一貫していないためにいわゆるムリ・ムダ・ムラがあったりするために、結果、時間や労力を無制限に掛けざるを得ない状況が続いてきた面がある。

そこで、今後は次のような取組を行っていく。

- ① 目指す子ども像、学校の経営方針を共通理解し、チームで子どもたちの育ちを支える。(グランドデザイン)
- ② 開発的な取組を行うことで問題行動自体を少なくする取組を進める。例) 自治活動、自分で判断
- ③ 実施してきた取組の効果測定を行い、取組を加除修正する。(指標、コストパフォーマンス、(RV) PDCA)

## 2. 検討事項・意見集約

### (1) 内容・指標の妥当性

来年度、我々教職員が進めて行く内容として、まずは良いかどうかご意見をください。

あわせて、指標が「測りたいものを測れているか（評価の妥当性）」どうか、ご意見をください。

### (2) 指標の%

来年度末、学校評価等のアンケートによって、私たちの取組がどれ程効果的であったのか、測定します。現時点では、全て機械的に90%としてあります。

今年度末あるいは来年度はじめであれば、どれくらいの数字になるかを思い描いていただきながら、来年度指標として目指す数値として、どれくらいがよいと考えるのか、ご意見をください。

## 3. 計画

1月21日（木）	主任会	提案・検討①
1月21日（木）	運営委員会	提案・検討②
2月 2日（火）～5日（金）	部会年度末反省	意見集約、来年度以降の活動の見直し
2月 8日（月）	職員会議	提案・検討③（各部からの意見も踏まえて挙げてください）
2月18日（木）	主任会	職員会議の意見を受けて再検討①
3月 4日（木）	主任会	職員会議の意見を受けて再検討②
3月11日（木）	運営委員会	提案・検討④
3月18日（木）	職員会議	提案・検討⑤→決定